

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和5年5月発行 No. 363

発行：日本のお手玉の会事務局 〒792-0023 愛媛県新居浜市繫本町8番565号

新居浜市市民文化センター別館1階

Mail: honbu@otedama.jp Tel: 0897-47-6148 FAX: 0897-47-6149

シンポジウム「未来のお手玉」余話 その6

お手玉外交でハワイやロスなどへ② [1/2] (宮中雲子)

お手玉は日本だけのものと思っていた私の驚きは大変なもので、見せていただいて、それが羊の骨を乾かし、彩色したものを知って、また驚きました。お手玉を通して世界に目が向いた最初でした。

以後外国の人からもらったり、外国へ行って持ち帰ったりで、外国のお手玉は増えて行ったのでした。

お手玉の会が、外国遠征をしたのは、平成6年の9月で「まつり イン ハワイ」への参加でした。私も参加、46人の皆さんとお手玉外交をしたのでした。大通りをお手玉をしながらパレードしたときは、沿道の方々がお手玉を欲しがられても差し上げるのがなくて

つらい思いをしました。ブースにはいろいろなお手玉を披露、お手玉の縫い方や、遊び方の指導もしました。2日間開いていたブースには、90歳の日系2世のご婦人が二日もいらして下さり、小さい頃うたって遊んだお手玉を懐かしんでおいででした。ハワイでは一緒に歌ってくれる人がいないので、お風呂で一人で歌っているとのこと「一番初



めは一の宮」や「青葉茂れる」等、お手玉をゆりながら、みんなでお手玉をして過ごしました。

現地に在住の友人の助けも借りながら

私の2度目の海外遠征は平成10年11月のロサンゼルスで、US-ジャパンエキスポへの参加でした。舞台でお手玉の技の披露をしたり、ブースでお手玉の展示もしました。ロサンゼルスの老人施設を訪ねて、皆さんと一緒にお手玉遊びを楽しみました。この時は、サンフランシスコ在住の友人がご主人と来



て、何かと手伝ってくれていたのですが、持って行った小豆がたりなくなって、お手玉づくりができなくなったときは、車で走り回って小豆を調達してくれました。つづく (日本のお手玉の会会長・詩人・日本童謡協会理事)

(写真上・ハワイの大通りをパレードする日本のお手玉の会のみなさん。写真左・ハワイの沿道の観客とお手玉をする宮中会長:右)